

ひとり親家庭の就業支援

●自立支援教育訓練給付金

- ◆対象者 就労に必要な資格取得を目指す市内在住のひとり親家庭の母または父で、次の要件をすべて満たす人
 - ・岐阜市母子・父子自立支援プログラムを受けている
 - ・講座を受けることが適職に就くために必要と認められるなど
- ◆対象講座 雇用保険制度の教育訓練給付制度の指定講座
- ◆支給額 受講費用の6割(上限あり)。雇用保険の受給資格を有している人は、支給額が異なります。※受講修了後に支給。

●高等職業訓練促進給付金

- ◆対象者 就職に有利な資格を取得するため、養成機関で6ヶ月以上のカリキュラムを修業する、市内在住のひとり親家庭の母または父で、次の要件をすべて満たす人
 - ・児童扶養手当受給者
 - ・6ヶ月以上のカリキュラムを有する養成機関で修業を開始し、対象資格の取得が見込まれる
 - ・就業または育児と修業の両立が困難と認められるなど
- ◆対象講座 看護師・准看護師・保育士などの資格取得講座など
- ◆支給額 市民税非課税世帯: 月額10万円、市民税課税世帯: 月額7万500円※原則、通学のみの講座が対象です。

【共通】◆申請先・問 子ども支援課(市庁舎2階・☎214-2396)

◎制度の内容の詳細は市ホームページ(HP 1003623)に掲載。講座開始前に手続きが必要です。講座開始1ヶ月前には必ずご相談ください。

妊娠婦への心づかいを
～マタニティマークをご存じですか？～

▲マタニティマーク

妊娠中から出産後は、赤ちゃんの成長とお母さんの健康を維持するためにとても大切な時期です。

特に、妊娠初期は外見から分かりづらく、つわりなどのつらい症状があっても、周りの人に気づいてもらえない、理解が得られないという声が聞かれます。

マタニティマークを付いている女性を見かけたら、次のような思いやりのある心づかいをお願いします。

①電車やバスなどでは席を譲る

②近くでの喫煙は控える

③「お手伝いしましょうか？」のやさしい一言をかけるなど

問 保健所保健予防課☎252-7193

こども家庭センター中保健センター窓口☎214-6631

こども家庭センター南保健センター窓口☎271-8130

こども家庭センター北保健センター窓口☎233-3116

プレコンセプションケアを
ご存じですか

プレコンセプションケア(Preconception care)とは、若い男女がともに性や健康に関する正しい知識をもち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行うことです。

自分のからだの状態を知り、生活習慣を整え、生涯を通じて健康になれるよう、今からプレコンセプションケアを実践しましょう。

●プレコンセプションケアの例

- ・栄養バランスのとれた食事
- ・運動習慣や十分な睡眠
- ・飲酒の見直しや禁煙

◎詳細は、市ホームページ(HP 1023570)に掲載。



▲マチイロ

問 保健所保健予防課☎252-7193

こども家庭センター中保健センター窓口☎214-6631

こども家庭センター南保健センター窓口☎271-8130

こども家庭センター北保健センター窓口☎233-3116

市育英資金(奨学貸付金)のご案内

- ◆対象者 市内に6ヶ月以上在住し、経済的理由により修学が困難な世帯の子で、校長が推薦する修学意欲のある人 ※所得要件あり
- ◆返済期間 修学期間終了後6ヶ月目から返済
- ◆申込・問 3月2日(月)～4月30日(木)の開庁日時に直接子ども支援課(市庁舎2階・☎214-2396)へ。
- ◆申込時に面談あり。貸し付けは、審査委員会で審査のうえ決定。※原則市内在住の連帯保証人が必要。また、借り受けをお急ぎの場合は、4月上旬までに申し込んでください。

◆貸付金(月額/無利子)

高等学校 (高等専門学校を含む)	国公立	16,000円
大学 (短期大学を含む)	私立	28,000円
大学院	国公立	45,000円
専修学校高等課程 (修業年限2年以上)	私立	54,000円
専修学校専門課程 (修業年限2年以上)	国公立	45,000円
専修学校専門課程 (修業年限2年以上)	私立	50,000円
専修学校高等課程 (修業年限2年以上)	国公立	16,000円
専修学校専門課程 (修業年限2年以上)	私立	28,000円
専修学校高等課程 (修業年限2年以上)	国公立	37,000円
専修学校高等課程 (修業年限2年以上)	私立	53,000円

妊娠婦への心づかいを
～マタニティマークをご存じですか？～

妊娠中から出産後は、赤ちゃんの成長とお母さんの健康を維持するためにとても大切な時期です。

特に、妊娠初期は外見から分かりづらく、つわりなどのつらい症状があっても、周りの人に気づいてもらえない、理解が得られないという声が聞かれます。

マタニティマークを付いている女性を見かけたら、次のような思いやりのある心づかいをお願いします。

①電車やバスなどでは席を譲る

②近くでの喫煙は控える

③「お手伝いしましょうか？」のやさしい一言をかけるなど

問 保健所保健予防課☎252-7193

こども家庭センター中保健センター窓口☎214-6631

こども家庭センター南保健センター窓口☎271-8130

こども家庭センター北保健センター窓口☎233-3116

「広報ぎふ」はアプリで読みます

広報ぎふのアプリをダウンロードすると、ご自身のスマートフォンから、いつでもどこでも広報ぎふをご覧いただけます。次の3種類をご用意していますので、ぜひご利用ください。

- マチイロ 紙面の形そのまま掲載。市ホームページ情報も表示。
- カタログポケット 多言語(10言語)で掲載。音声読み上げ機能やポップアップ(拡大)機能あり。
- 広報プラス 記事をキーワードで検索。9つの分類カテゴリ「子育て」「健康」「くらし」「スポーツ」「イベント」「文化」「しごと」「講座」「その他」ごとに記事を掲載。

※ダウンロードは8面の二次元コードをご利用ください。

問 保健所保健予防課☎252-7193

こども家庭センター中保健センター窓口☎214-6631

こども家庭センター南保健センター窓口☎271-8130

こども家庭センター北保健センター窓口☎233-3116

問 広報広聴課☎214-2387

広報ぎふ 2022号

こども家庭センター中保健センター窓口☎214-6631

こども家庭センター南保健センター窓口☎271-8130

こども家庭センター北保健センター窓口☎233-3116

広報広聴課☎214-2387

広報広聴課☎214-2387